

令和6年度「地区別懇談会」について（美都地域）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和6年 4月25日（木）	宿泊交流センター ぬくもりの里	14:00～15:10	15	2	17

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、福祉環境部次長、建設部長、連携のまちづくり推進課長、美都地域総務課課長補佐、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

この地区別懇談会は、例年開催していた自治会長会議に変えて試行的に開催するものである。自治会長の皆様方の出席の負担があることや、執行部も話題がないという事もあったりし、課題だと思っていた。コロナによりしばらく開催が中止されていたが、今回は、広聴広報機能の充実ということで、市長と語り合う会と同じようなスタイルであるが、平日の日中に開催し、出席状況等を勘案して今後の取扱いについて検討していきたいと考えている。今年度は試行的に益田市内5地区でそれぞれ開催する。

1. 令和6年度 施政方針の概要

〔現状（課題）〕

・地震を始めとする自然災害の脅威と防災対策の重要性

今年元旦に発生した能登半島地震により、災害対応が大変重要であるということを浮かび上がらせたところである。新型コロナウイルス感染症もそうであったが、危機管理というものが、市政の中でも最優先課題の一つであるということを改めて認識したところである。

・地球全体の気温上昇は容赦なく進行しており、脱炭素社会への移行はまさに焦眉の急

昨年7月が観測史上で最も暑い月であったとされ、地球全体の温度上昇が容赦なく進行している。地球温暖化の1番の原因である温室効果ガス、その中の最たるものである二酸化炭素の排出量を減らしていく脱炭素社会への移行が、ますます焦眉の急であると言われている。

・人口減少と高齢化が加速し、中山間地域における活力維持が日を迫るごとに困難となりつつある

本市でも人口減少と少子高齢化が加速している。中山間地域の活力を維持すること、生活機能を維持することがますます困難となっている。行政としては、市民サービスの向上、また行政事務の効率化、そして担い手となる人材の育成と確保が重要と考えている。

・萩・石見空港も大きな岐路

東京線、大阪線とも、令和6年度は大きな岐路にたっている。東京線については、現在2往復運航が継続されているが、これは令和7年の3月までとなっており、その後継続されるかどうかというのは、まさに今年度前半の利用実績が大きくものを言うと考えている。今年度は、利用実績を確実に上げ東京2往復運航の継続を確保しなくてはならない。また大阪線についても、昨年は8月の5日間の運行であった。同じ時期の伊丹空港の他の路線と比べると10ポイント以上低いことから、昨年の12月にANAから、令和6年度の運行は難しいとの話があり、急遽、知事と本社へ要望し、何とか令和6年は5日間運行をしていただく決定をもらった。今年の夏の利用

実績も昨年と大きく変わらないようであれば、令和7年度については季節運航すらないものと覚悟しなければいけない厳しい状況である。

〔重点方針〕

・災害対策の強化

地震災害、また豪雨災害のリスクについて、防災、減災の観点から、状況と課題を市役所の中で全庁的に共有し、必要な体制整備、備蓄の充実に努めていく。能登半島地震から半年が経過した7月上旬に、市役所庁内で公開型の勉強会を開催し、能登半島地震の被害の状況やその後の対応、現在の避難所の状況等々を検証し、益田市としてどう対応していくかという課題、今後の対応を検討していく。能登半島は、益田市と地理的な状況や社会的な状況がかなり似通っていることから、能登半島地震の事例集は、本市においても大きな参考になると考えている。

・地球温暖化への対応

温暖化対応については、これまで益田市では、公共施設の屋根に太陽光発電のパネルの設置や照明施設のLED化、市役所の共用車についても、電気自動車に置き換えを進めている。また、市役所で調達する電力も再生可能エネルギーから発生した電力だけを供給して頂く等、脱炭素の取組みを進めてきたが、さらに一歩進んで、冷暖房の使用をさらに適性に進めるための服装についても、夏場のクールビズ、冬場のウォームビズをさらに徹底していきたいと考えている。

・中山間地域振興と交通維持

中山間地域の生活を維持するために、自助、共助、公助、最も最適なバランスを追求するとともに、官民連携や、近隣自治体等との連携を進めて、路線バスや飛行機等の公共交通の維持確保を図っていく。

・自治体DXの推進

これまでのアナログ、人間の手作業で進めていた作業を、デジタル、コンピューターを活用して自動化するというもの。昨年度からは、親族の方が亡くなられた時のご遺族の手続1か所で行うことができるお悔やみ手続サポートサービスを行ってきた。また本庁1階フロアを改修し、市民課、保険課の手続をなるべく書類申請書に書かないで行っていただく書かない窓口というのを進めてきた。住民票等の証明書についても、コンビニエンスストアや郵便局でもとれるように範囲拡大を進めている。またDXを進めていく上では、それに携わる職員の意識改革も重要で、どうすれば行政事務を効率的にできるか、市民サービスを充実させることができるかといった観点から、様々な改革を進めることにしている。

・益田市型中高一貫教育の推進

これまでも益田市では、地域に生まれ育った子供たちが地域に愛着を持ち、学校卒業後も地域で活躍してもらえるように、小学校就学前の段階から小学校、中学校、高校と一貫した流れでふるさと教育に取り組んでいる。今回は特に、中学校と高校の6年間をより連携した形で進めることによって、益田市の子供たちがより進学等の選択肢を自由に選べるような体制をつくっていきたいと考えている。昨年、益田東高校に委託し市内の小、中学生に補習事業や、様々な教科授業をしていただいたが、こういった取組みをさらに進め、中高の6年間を連携した学力育成の取組みを行っていききたい。子供たちの意欲を引き出す取組みにより、子供たちの全体の学力の向上、あるいは学習意欲、学習できる環境づくりといったものにも繋げていきたい。学力を身につけられる環境を確保するという事は、子育て世代が住む場所、子供を産み育てる場所を選ぶ際に、大きな選択の基準になると考えている。

そういった意味で、令和6年度の市政方針は、持続可能な地球環境と地域社会に貢献できる新しい地方自治というのを合い言葉にして進めていく。

2. 市内路線バスの現状

市内の路線バスは、基本的には石見交通に担っていただいているが、現在、人口減少や少子高齢化により運転士の担い手不足が顕在化している。今年度から、労働規制が変わり担い手不足が

さらに顕著になってきており、今まで運行していたバスの維持も大変厳しくなった。特に周辺部の高齢の方々や移動の難しい障害者の方々に大きな影響が生じると思われる。また地域の活力にも繋がってくるので、交通事業者としっかりと協議をしながら、地域公共交通の維持確保を図っていきたいと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 空き家対策について
- ② 自治会長会議について
- ③ 人口減少について
- ④ 災害対策の強化について
- ⑤ 交通維持について
- ⑥ 自治会について
- ⑦ 農業の現状について
- ⑧ 道路の管理について
- ⑨ 河川の草刈りについて
- ⑩ 路線バス、診療所の維持について
- ⑪ 河川内の堆積土等について(1)
- ⑫ 河川内の堆積土等について(2)
- ⑬ 災害対策の評価について
- ⑭ 中高一貫教育について
- ⑮ 下水道施設について
- ⑯ ツキノワグマの取扱いについて

○ 閉 会 （秘書課長）

令和6年度「地区別懇談会」

〔会場 宿泊交流センターぬくもりの里 開催日時：令和6年4月25日（木）14:00～15:10〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>①-1 空き家対策について 親族等の状況が全く分からない空き家があり市に問い合わせても個人情報に関するため調べることができないとの事だった。現状は、自治会で草刈り等行い荒れるのを防いでいる。先日ラジオで、他の自治体では、国に移管し国が管理をしていると放送していた。何か対策はできるのではないかと、市には解決していく責任があるのではないかと思う。国や県の管理にして解決したいと思っているが、市も解決の方法を見つけてもらいたい。</p>	<p>① 空き家については、大きな課題であり更に増加傾向であるため深刻である。市では空家等管理計画を策定し基本的な方針を定めている。基本的には、所有者または管理者が適正に管理していただくのが原則であるが、崩壊して隣地に影響を及ぼすような空き家を老朽危険空家として指定し、最終的には行政代執行で解体し管理者に費用請求することとなる。ただ費用を払ってもらえるか難しい面もある。県や国への移管というのは認識していない。市が管理計画に基づき対応していくが、直ちに処理する事は難しい面があることも理解いただきたい。</p>
<p>①-2 亡くなられた方の個人情報もあるのか。自治会で行う限度を超えているので何とかしてほしい。</p>	<p>土地や家屋の所有者の氏名は個人情報になるのでお知らせするのは難しいが、行政は把握しているので適切に対応したい。最終的には市からご本人へ促すことになる。</p>
<p>② 自治会長会議について 自治会長会議の意義は、市長から任務を伺い自覚するような事と思っていた。ただ現在は状況も変わり、会議に参加することへの職場の理解も得られなくなっている。どのような形がいいか分からないが、いろいろ研究し民意に沿うような形にしてほしい。</p>	<p>② 自治会長会議の難しい点の一つは、各地区で自治会長の役割や認識の違いがあり、行政からのお知らせを住民まで伝えていただいている地区もあれば、受け手がいないため持回りで行っている地区もあるため、会議を開催する事も困難となった。どういう仕組みが一番望ましいのか試行的に実施し更に検討していきたい。</p>
<p>③ 人口減少について 益田市も人口が減っている。地区に結婚しない男女が多くいるが、市として婚活の場等出会の機会を促進してほしい。</p>	<p>③ 晩婚化や未婚化が増えている事は、少子化の原因の一つでもある。以前は市で婚活のイベントを行っていたが、現在は商工会議所等民間の団体が主催するイベントに助成し間接的に進めており、今後も継続していきたい。</p>
<p>④ 災害対策の強化について 市道で崖を切り開き開設した個所があるが、降雨等により再々落石し危険である。現地を点検し防災対策等を検討してほしい。</p>	<p>④ 落石個所については、すぐに対応したい。後ほど場所を確認させていただき現地調査を行いたい。</p>
<p>⑤ 交通維持について 路線バスにおいて大型車を使用しているが、乗客も多くないので中型バスに変更し経費削減に努めるよう協議してほしい。</p>	<p>⑤ 車両が乗車人数からすると大きいのではないかと思ひ、県の担当課と話をしたこともあるが、事業者からは、大型が必要な路線もあり直ぐの対応は困難との事であった。地域交通の維持は大きな課題であるので、住民の皆様と事業者が直接話し合う機会を設ける等、対策を考えていきたい。</p>
<p>⑥ 自治会について 自治会長、公民館、地域自治組織それぞれの位置づけをわかりやすく文書で示してほしい。同じような組織が混ざり合っているので動き</p>	<p>⑥ 公民館については、市の条例に記載されている。地域自治組織についても、一定のあり方、目的等は市で作成しているし、総会で決められた規約によるものであると考えている。間</p>

がわかるのではないか。人数の少ない中、いろいろな組織があり難しい面もある。

- ⑦ 農業の現状について
農業の衰退が懸念される。農業が衰退すれば集落が荒廃する。水稻生産部会として意見書を提出したが反映されていない。
- ⑧ 道路の管理について
斎場へ向かう道路、191号線において、マイクロバスに当たるくらい枝も出ており法面の管理が出来ていない。通行量も多く市外から来た方の印象も違ってくるので対応してほしい。国道については、市からも言ってほしい。
- ⑨ 河川の草刈りにについて
これまで請け負いの契約をしていたものが、補助金申請に代わったが、どのような理由からか。
- ⑩ 路線バス、診療所の維持について
運転免許を持っていない人が、通院、通学、買い物等で必要不可欠なので、出来るだけ残していただきたいのと合わせて、美都地域の一つある診療所も引き続き維持していただきたい。
- ⑪ 河川内の堆積土等について(1)
河川内に堆積土が溜まっている。残土処理地がないと出来ないという事もあるが、市も残土処理場を確保する等して事業を推進してほしい。
- ⑫ 河川内の堆積土等について(2)
近年降雨により水が出ると、田の取水口にすぐ土砂が溜り取水できなくなる。残土処理地も確保しているので、市から県へも要請してほしい。
- ⑬ 災害対策の評価について
大きな地震があった際、一番困るのが水と言われている。市の水道の老朽化の状況はどうか。また災害があった時、水の供給は、どのような対応がなされるのか。
- ⑭ 中高一貫教育について
人麻呂ビジョンで東校の生徒が教えている

題は自治会長だが、基本的には行政とは別の組織で、地域住民の方々が運営されている自主的な集まりなので、市が決めるのは難しい。

- ⑦ 稲作については、価格低下等で厳しい状況であることは認識している。どういう要望か今は把握していないが、市においても様々な農業施策の計画を作成しているので、その中で支援しているところである。
- ⑧ 道路管理者において安全を確保する必要があるので、市が管理する道路については適切に管理していく。現状として、直ぐに対応という事が難しい部分もあるが、現場を確認し極力早く対応したい。191号については、市民の方はどこが管理している道路か分からない事もあるので、市で情報把握したものは、管理者へ伝えていきたい。
- ⑨ 委託契約の事務そのものに地元の方の負担があるという事で、少しでも負担軽減を図るため補助に変えたところである。
- ⑩ 路線バスについては、事業者としっかりコミュニケーションをとり、より良い形を維持していきたい。
診療所についても、なんとか医師を確保していきたいと思っている。
- ⑪ 所管している県と連携をとって進めていきたい。
- ⑫ 本日いただいたご意見を県へ伝えていきたい。
- ⑬ いつ来るかわからない災害に備えなければと思っている。水道の老朽化については、年数の古い水道管から順次更新をかけているが、安全な水を提供することとあわせ安価な水の提供も必要であることから、一定の投資の範囲内で進めている状況である。今後地震の実例の勉強会を行う中で研究し対応していきたい。

- ⑭ 東高校で行っている中高連携授業については、小中学校に周知をかけているが、学校に

<p>ところを見たが、美都や、匹見等の中学生が参加できるのか、また、中学校に対してアナウンスされているのか。</p> <p>⑮ 下水道施設について 先日停電があった際、下水処理に係るポンプが作動しなかったため使用の抑制の連絡があったが、停電になった際の住民への周知等どういう流れになっているのか。</p> <p>⑯ ツキノワグマの取扱いについて 国の保護指定からは外れたと聞いたが、今後どのように変わっていくのか。</p>	<p>よっても温度差があり、アンケートでは、保護者間、生徒間の口コミが多く、学校からの紹介が少ない。もっと学校から周知してもらえようになりたい。遠隔地からの希望者については、送迎手段もあわせて講じていただいている。</p> <p>⑮ 停電の際には自家発電で対応できるようになっているが、何かあれば市から住民の皆様と連絡させていただく。</p> <p>⑯ 保護鳥獣から管理鳥獣に変わったが、数年前に里山で危害の危険の恐れがある個体等については、殺処分が出来るよう変わっているので、現在においても完全保護ではない状態である。</p>
---	--